

下館祇園まつり 歴史をつむぐ

7月23日から4日間にわたり、今年も筑西の夏を彩る「下館祇園まつり」が盛大に開催されました。日本最大級の重量を誇る「平成神輿」をはじめ、歴史ある「明治神輿」、活気あふれる町会神輿などが下館駅前通りに担ぎ出されました。

初日の23日は宮出しが行われ、明治神輿と華やかな姫神輿が羽黒神社を出発。夜はあいにくの雨でしたが、平成神輿も合流し、降りしきる雨を吹き飛ばす熱気が駅前通りを包み込みました。祭りが最高潮を迎えたのは「わっしょいカーニバル」が同時開催された25日。市内外から神輿や山車などが駅前に集結し「神輿甚句」に合わせて激しく採まれる姿は、会場全体を熱狂の渦に巻き込んでいきます。その後は一転して、厳かな雰囲気の中、平成神輿の宮入道中が執り行われました。

駅前周辺が観客で埋めつくされた、まさに圧巻の4日間。威勢のいい掛け声とお囃子が響き渡った筑西の夏の風物詩は、多くの観客を魅了し幕を閉じました。



